

冬の交通安全だより

平成28年12月発行
芦屋市都市建設部建設総務課

いよいよ師走，1年の終わりの月ですね。
大人は忙しい毎日になりますが，子ども達にとってはクリスマスなど楽しい行事が続きます。
事故に十分気をつけて，元気に新しい年を迎えましょう。

* 年末年始は事故に要注意！！

11～12月は交通死亡事故が多発する傾向にあります。年末年始の準備で忙しい，お酒を飲む機会が増える，寒いので早く目的地に着きたい…等，どうしても急いでしまい周りに注意がいかなることがあります。油断せず，しっかり周りを見て行動しましょう。

歩く方

- 無理な横断はやめましょう
近くに横断歩道がある時は横断歩道を渡りましょう。道路を渡る時は左右の安全をしっかりと確かめましょう。
- 反射材を活用しましょう
夜間，黒っぽい服装は周りからは見えにくいいため，明るい服装や反射材を活用し，目立つようにしましょう。

運転手の方

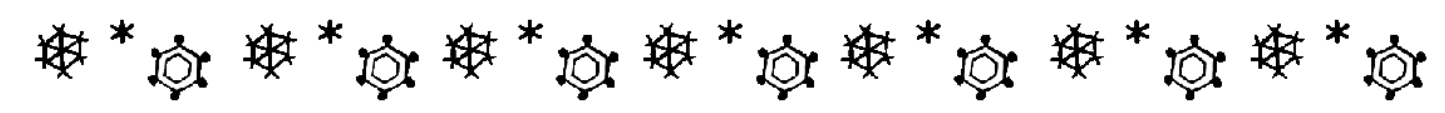
- 気持ちにゆとりを持った運転を心掛けましょう
安全な速度で車間距離は長めにとりましょう。
- 走行中はハイビームが基本です
発見の遅れは事故に繋がります。前車・対向車がない場合はハイビームにしましょう。

* 年末の交通事故防止運動がはじまります！

<期間>
平成28年12月1日（木）～10日（土）までの10日間

<運動の重点>

- ① 飲酒運転の根絶
- ② 夕暮れ時の交通安全
- ③ 自転車の交通安全
- ④ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

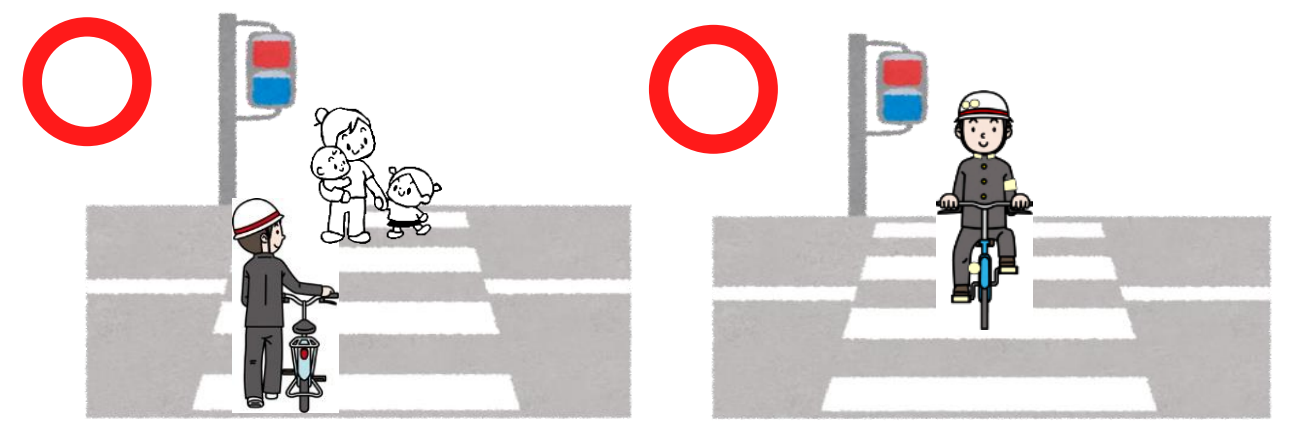


* 自転車で横断歩道を渡るときは？

みなさんは自転車で横断歩道を渡るとき，どうしていますか？
実は今，全国的に自転車横断帯が撤去されています。自転車横断帯のある交差点では，車道を走行していても自転車横断帯を通行しなければなりません，この通行方法は左折する車との事故が起こりやすく危険なため，撤去が進められています。

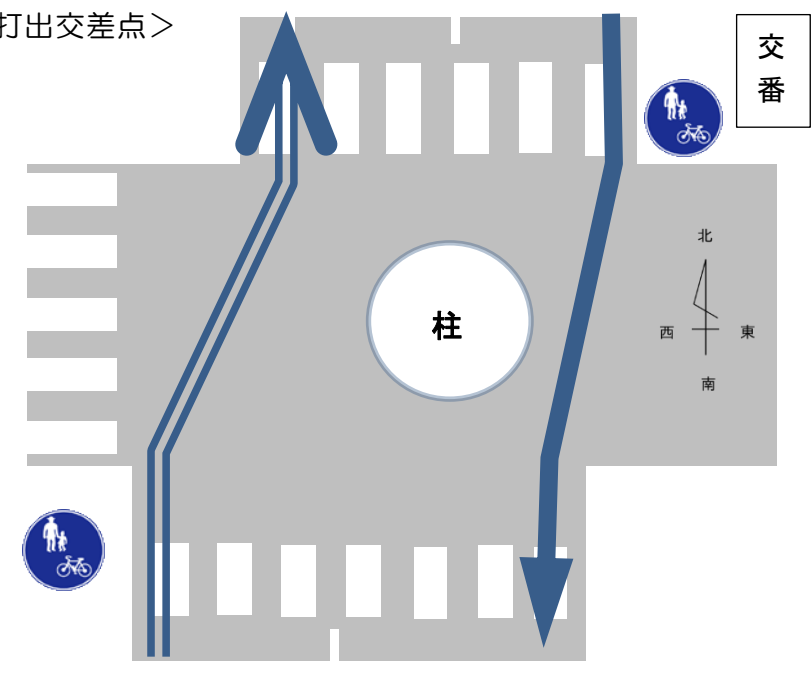
では，自転車で横断歩道を渡るときはどうすればいいのでしょうか。

横断歩道は“歩道”なので歩行者優先。接触しただけでもそれは交通事故になります。自転車から降りて，押して通行しましょう。（歩行者がいらない場合は乗って通行OK！）



※ちなみに…
自転車は軽車両なので車両用信号に従い，車道を横断することができます。（矢印信号に従って右折することはできません。）

<例：打出交差点>



車道を通行する際も，必ず交通ルールを守りましょう。

信号の遵守
安全確認の徹底
左側通行

また，斜め横断は禁止です！



※国道43号等の大きな道路は安全のため，なるべく横断歩道を利用しましょう※

小村

大人でも，小さなお子さんでも，自転車に乗っている時に歩行者にぶつかれば交通事故になります。未成年の場合は保護者の責任が問われます。事故のないように，安全運転に努めましょう。

山本